

令和2年度 公益財団法人 和歌山県栽培漁業協会事業計画

1 基本方針

本県地先海域における水産資源の維持増大を図るため、有用魚介類の種苗生産等を行い、放流等により栽培漁業を推進し、もって沿岸漁業の生産の向上に努める。

2 事業計画

(1) 種苗生産等事業

県の委託を受け放流等に供するため、次のとおり種苗生産等を行う。

種類	計画数量	技術開発計画
ヒラメ	410千尾(30mm) 11千尾(80mm)	(種苗生産) 無眼側体色異常の出現防止に努めるとともに、生産コストの軽減を図りながら、活力のある種苗をより安定的に生産する技術の確立を目指す。 (中間育成) より安定的に生産する技術の確立を目指す。
イサキ	48千尾(20mm)	(種苗生産) 健全な親魚を養成し、良質卵の確保を図るとともに、より一層の生産コストの軽減を図りながら、活力のある種苗を安定的に生産する技術の確立を目指す。
クエ	38千尾(40mm) 13千尾(100mm)	(種苗生産) 形態異常魚の出現防止に努めるとともに、生産コストの軽減を図りながら、活力のある種苗を安定的に生産する技術の確立を目指す。 (中間育成) より安定的に生産する技術の確立を目指す。
アワビ類	クロアワビ 91千個(35mm) メガアワビ 52千個(36mm) トコブシ 78千個(28mm)	(種苗生産・中間育成) ・クロアワビ、メガアワビ 天然貝から健全な親貝を養成し、良質卵を安定して確保する技術の確立を図るとともに、付着珪藻不足時の対応として、微粒子配合飼料を導入し、活力のある種苗をより安定して生産する技術の確立を目指す。 ・トコブシ 成長を促進させるため、早期採卵を行い、安定して生産する技術の確立を目指す。

※ センター別生産計画

単位：千尾・千個

	ヒラメ	イサキ	カサゴ	クエ	アワビ類
北部栽培漁業センター	－	48	－	－	143
南部栽培漁業センター	421	－	－	51	78
計	421	48	－	51	221

(2) 種苗放流による広域種の資源造成効果・負担の公平化検証事業

広域種の効率的・効果的な栽培漁業を推進するため、「共同種苗生産・放流体制の構築・高度化の実証検討会」に出席する。また、瀬戸内海海域栽培漁業推進協議会で実施する、サワラ共同種苗生産・中間育成・放流事業に提供するため、ヒラメ冷凍孵化仔魚1,000万尾を作製する。

(3) 放流効果調査事業

(クエ)

標識放流したクエ（平成23・24年度に腹鰭抜去、平成27年度にダートタグ装着）について放流効果を検証していく。

(4) 栽培漁業普及啓発事業

一般県民に栽培漁業への理解を深めてもらう一環として、小学生を対象に体験放流や中学生の職場体験学習等の受入を行う。